

2019年3月8日

2018年度 突哨山「びびの路」カラマツ食害木除去作業報告

比布町役場 御中

NPO 法人もりねっと北海道  
代表 山本 牧

- |        |             |      |    |          |
|--------|-------------|------|----|----------|
| 1. 作業日 | 2018年11月19日 | 現況調査 | 1名 | (澤田勇氏同行) |
|        | 2019年 1月30日 | 除去作業 | 3名 |          |
|        | 2019年 2月 6日 | 除去作業 | 2名 |          |
|        | 2019年 2月22日 | 除去作業 | 3名 |          |

2. 作業内容

2-1 除去対象木の調査・選定

突哨山村上山公園口から「びびの路」を 200-300m ほど入ったカラマツ林（町有林）はヤチネズミによる食害が激しく、根元をかじられて枯死または樹勢が弱った木が目立ち、遊歩道に枯損木が倒れたり、枯れ枝が落下する危険があった。このため、2017年10月25日に「NPOもりねっと」と突哨山運営協議会委員が合同で調査を行い、危険木の判定と標識付けを行った。

その結果は危険木がカラマツを中心に114本、要注意木が29本であった。これにはネズミ食害の他に風害によるトドマツ5本、サクラ1本も含んでいる。今回はこの危険木114本を対象に2018年度、19年度の2カ年で伐倒と集積処理を行うものである。

2-2 現況調査：現況調査では対象区域の除去対象木と保護すべき希少植物を確認

対象区域内の被害木の分布や標識の設置状況を確認したほか、比布町在住で突哨山の植物調査を行っている澤田勇氏（突哨山運営協議会委員）に同行していただき、対象範囲内の希少植物の位置を確認。保護範囲にテープによるマーキングを行なった。

2-3 除去作業：除去対象木114本の内、57本を伐倒・集積処理

伐倒した除去対象木は景観に配慮し、その場または歩道から遠い地点に玉切り・集積を行なった。特に希少植物の保護範囲に対しては、伐倒によるダメージを避け、集積場所にならないような配慮した。今年度は遊歩道および希少植物の保護範囲に近いものを優先して除去作業を行なった。

### 3. 作業写真



伐倒の様子。白テープが除去対象木。オレンジテープが希少植物保護範囲。



伐倒した木は運べる長さに切断し、景観や希少植物保護範囲に配慮しながら

以上